

県医師会理事会記事

平成30年度第9回常任理事会

(平成30年6月5日)

平松会長 挨拶



皆さま、こんばんは。この一週間は横倉会長の事務所開きという大きなイベントがありましたけれども、その件に関しましては理事会でご説明をしたいと思います。

いろいろと複雑な事柄が多くて、説明に苦慮するところがございますけれども、これに関しまして、少しずつ皆さまに分かっていただける時がくると思っております。今日は理事会の方で、やや込み入ったお話をさせていただきたいと考えております。よろしくお祈りいたします。

協議事項

- ・中国地方社会保険医療協議会委員 (中国四国厚生局) の件 (檜谷副会長)
原案どおり承認
- ・産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者推薦の件 (津谷常任理事)
広島県産婦人科医会へ推薦依頼を承認
- ・平成30年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰候補者推薦の件 (津谷常任理事)
地区医師会へ推薦を依頼
- ・平成30年度広島県発達障害児・者診療医養成研修会共催の件 (渡邊常任理事)
共催を承認
- ・第10回IPPNW北アジア地域会議旅行代理店選定の件 (加世田常任理事)
最適代理店の選定を承認
- ・広島県医師会速報の製本の件 (小笠原常任理事)
最適業者に発注を承認
- ・治療中の方の情報提供に関する事業協力の件 (大本常任理事)
協力を承認

報告事項

- ・5月28日、院内事故調査委員会 (渡邊常任理事)
医療機関にて開催された院内事故調査委員会に、オブザーバーとして参加した。
- ・5月29日、広島少年鑑別所視察委員会 (山崎常任理事)
広島少年鑑別所の概要説明、所内視察の後、委員会を開催し今年度の運営方針を協議した。
- ・5月30日、平成30年度第1回苦情相談業務に関する連絡会議 (渡邊常任理事)
苦情相談業務に関して、県医師会・市医師会・県行政・市行政の四者が連携してさまざまな事例に対処すべく検討するため開催した。前回会議からの確認事項について弁護士の見解報告を行い、各団体からの苦情相談4例について検討した。

平成30年度第4回理事会

(平成30年6月5日)

平松会長 挨拶

皆さま、こんばんは。今日は現体制で最後の理事会でございまして、言いたいことも多々ございますけれども簡潔明瞭に話したいと思っております。

最近の出来事を申しますと、日本医師会の横倉会長の選挙対策本部事務所開きがありまして、この件に関しましては後程詳細に申し上げます。私たちの広島県医師会でも人事異動がもちろんございますが、その件に関しましてはまた説明したいと考えております。

日本医師会の会長候補をはじめとする副会長あるいは常任理事の選挙が、実は候補者が定員より多く選挙になるのですが、現在会長候補者は1名ということで横倉会長でございまして、副会長、常任理事また議長も複数立たれ選挙戦に突入するわけでございます。中四国ブロック特に広島県におきましては、非常に苦しい立場に立たされております。現常任理事の温泉川先生がキャビネットに入っていないんですが、1期2年の温泉川先生がなぜキャビネットに入れ

ないのか不思議です。

選挙は勝たなければいけませんので、われわれも全力を尽くして、われわれの広島県医師会から立つ温泉川先生を応援するということになりますので、しっかりと応援したいと考えております。

いろいろなことがございました。私の個人的な問題でございますが、私の名誉のために戦った4年におよんだ広島市医師会との裁判はようやく和解になる予定です。広島県医師会長である私が裁判に引き込まれ、この4年間は私の力の1/4くらいそちらに取られてしまったと、今から思えば残念なことだったと思います。

いずれにしましても、当初申しましたように県医師会の会務は、公平・公正に、それに透明性を確保し、情報開示をして説明責任を果すという4つの基本理念で、皆さんとともにこの4年間やって来ました。

さて、昨日はやることはいっぱいあったのですが、つい目の前にある昔の本を取り出して読みました。

皆さん、ウィリアム・オスラーをご存じでしょうか。アメリカのジョーンズ・ホプキンス大学の内科の医師ですが、彼がペンシルベニア大学からジョーンズ・ホプキンス大学に移る時に学生たちに告別の演説をしているのです。これは非常に有名な演説で、それを含めてオスラー先生が学生に講演した話を講演集として出版されていますが、日本語版は日野原重明先生が翻訳されています。本の題名は「平静の心」(医学書院1983.9)です。

以前に話したことがあります、「平静の心」とは字のとおりでございまして、平静の心を保つ一番の方法は、「人に期待しないこと」と説明されています。

それともうひとつはただ本を読むだけではダメだということです。知識をいくら吸収しても単なる知識であって、知恵のひとつ上の叡智を求めること、叡智を鍛えていくことが大切だとオスラー先生は言っています。

医術だけを学ぶのではない。なにかひとつ趣味を持つべきだとも学生達に言っています。大事なのは叡智であり道理を極め真理を求めていく、それが医術の他に重要だということです。

医師会としましても、そういう姿勢で最初に言いました4つの基本理念を中心に今後もやっていきたいと考えております。今日はちょっと哲学に近いお話をさせていただきました。

協議事項

- ・日本医師会副会長候補者推薦の件(平松会長)
原案どおり推薦を承認
- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (小林常任理事)
37件、原案どおりすべて承認
- ・公益財団法人広島がんセミナー副理事長就任の件 (津谷常任理事)
平松会長の推薦を承認
- ・広島大学医学部産科婦人科学教室同門会講演会講師派遣の件 (津谷常任理事)
渡邊常任理事の派遣を承認
- ・平成30年度広島県健康福祉行政推進事業に係る受託業務再委託の件 (水野常任理事)
継続審議とする
- ・NPO法人加藤友三郎顕彰会平成30年度年会費納入の件 (水野常任理事)
会費納入を承認
- ・公益財団法人暴力追放広島県民会議平成30年度賛助会費納入の件 (水野常任理事)
会費納入を承認
- ・「小さな親切」運動広島県本部平成30年度賛助会員継続の件 (水野常任理事)
会員継続を承認
- ・更生保護協会賛助会員会費納入の件 (水野常任理事)
会費納入を承認
- ・平成30年度広島県医師会会費賦課徴収減免申請の件 (津谷常任理事)
出産・育児減免申請者1名、疾病減免申請者2名、疾病減免申請者2名、前期研修医申請者32名の減免を承認
- ・第23回広島県理学療法士学会後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・広島大学霞管弦楽団 2018 Autumn Concert 後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・医師賠償責任保険協定書の件 (加世田常任理事)
協定書の締結を承認
- ・日本医師会女性医師支援フォーラム(仮称)の件 (國田常任理事)
日本医師会からの開催依頼を承認
- ・役員出張申請の件 (津谷常任理事)
原案どおりすべて承認

報告事項

- ・5月26日、広島県医師協同組合第50回通常総代会 (平松会長)
平成29年度決算書類承認および、平成30年度事業計画並びに収支予算案承認などを行った。
- ・5月28日、広島県地域保健医療推進機構理事会 (平松会長)
平成29年度事業報告及び決算報告、資産取得資金などについて協議した。
- ・5月31日、原対協平成30年度第2回理事会 (平松会長)
平成29年度事業報告・決算報告・監査報告などがあった。
- ・6月3日、横倉義武日本医師会会長候補選挙対策本部事務所開き (平松会長)
横倉キャビネットの照会および決意表明などがあった。
- ・5月28日、平成30年度第1回広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会 (檜谷副会長)
平成30年度事業計画および人材マッチング部会、職場改善・資質向上部会、イメージ改善・理解促進部会などについて協議した。
- ・5月29日、中国地方社会保険医療協議会広島部会(第116回) (檜谷副会長)
保険医療機関及び保険薬局の指定などについて協議した。
- ・5月29日、平成30年度広島県メディカルコントロール協議会 (檜谷副会長・中西・野間両常任理事)
協議会内に設置されている「救急搬送・医療提供体制検討部会」ならびに「病院前救護体制検討部会」における平成29年度の取り組み・検討結果と今後の展望が報告された。また、各種の課題を踏まえて平成30年度の検討事項について協議した。
- ・6月1日、平成30年度第1回都道府県医療政策研修会 (檜谷副会長)
地域医療構想の達成に向け、各都道府県の取組を推進するため、都道府県職員や都道府県医師会等の関係団体などを対象に開催された。当日は、厚生労働省担当課より、地域医療構想や在宅医療の充実に向けた説明後、午後からは事例報告とグループワークが開催された。
- ・5月26日、第14回男女共同参画フォーラム (國田常任理事)
高知県医師会の担当により「次世代がさらに輝ける医療環境をめざして～超高齢社会で若者に期待する～」をテーマに、基調講演1題、シンポジウム4題のほか、日本医師会男女共同参画委員会の報告と、女性医師支援センターの事業報告が行われた。全国医師会などより286名の参加があった。
- ・5月27日、第35回広島県医師インタークラブゴルフ大会 (中西・山崎・渡邊・大谷各常任理事)
広島カンツリー倶楽部八本松コースで開催され、広島県医師会執行部チームは3位であった。
- ・5月28日、広島県地域保健対策協議会監事会 (山崎常任理事)
平成29年度の広島県地域保健対策協議会事業活動について報告後、一般会計および特別会計の収支決算状況など、証憑書類・決算書・総勘定元帳・預金通帳に基づき監査を行った。
- ・5月30日、第1回臨床検査精度管理推進委員会 (志田原常任理事)
11月14日(水)に実施する第46回臨床検査精度管理調査の内容や、作業スケジュールなどについて協議・検討し、昨年と同様の調査内容で実施することを決定した。また平成31年3月に検査部長・技師長連絡会議および向上研修会を開催することが決定し、その内容についても協議した。
- ・5月31日、第19回広島がん高精度放射線治療センター運営協議会 (中西常任理事)
広島がん高精度放射線治療センターの運営状況を共有し、必要な対応策などを協議するため、関係7者により開催した。開設当初の計画とこれまでの経営状況を比較検証し、リニューアルの追加・更新検討を含めた「今後のセンターのあり方」について協議した。広島県から4基幹病院の放射線治療紹介患者数報告を従来よりも簡略化して実施したい旨の依頼があった。

- ・5月31日、平成30年度広島県若年性認知症支援ネットワーク会議 (山崎常任理事)
平成29年度の広島県若年性認知症施策事業業務が報告され、次いで平成30年度の実施計画が提案され了承された。最後に意見交換を行った。
- ・5月31日、平成30年度第1回女性医師部会 (國田常任理事)
平成29年度の活動報告を踏まえ、平成30年度の活動方針および事業計画について協議を行った。詳細については、6月10日以降に選任される新メンバーで決定する。
- ・5月31日、平成30年度第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会 (山田常任理事)
救急需要の増大や救急業務の高度化に伴い、救急救命士を含む救急隊員らが行う応急処置などの質を医学的観点から保障することなどを目的に各地域で設置されているメディカルコントロール (以下MC) 協議会について、MC 体制に関する課題の整理や情報共有・提言の場として標記連絡会が開催され、全国から関係者約750名が集まり、最新の情報共有を行った。
- ・5月31日、平成30年度医療対話推進者養成セミナー (導入編) (渡邊常任理事)
本セミナーは、患者・家族と医療機関の職員の間で生じたさまざまな問題などについて、対話を通じて協力的かつ柔軟に解決していこうとする、『医療コンフリクト・マネジメント』の考え方をもとに、両者の円滑な対話関係の構築に向けて、対話の橋渡し役となる『医療対話推進者』を養成することを目的としている。
- ・5月31日、広島県腫瘍登録実務委員会 (津谷常任理事)
今年度作成予定の広島県腫瘍登録報告書 (No. 43) 2015年診断症例の特定解析臓器について協議した。アンケートの結果は5大がんに戻って解析の意見が多かったが、リンパ腫の解析を広島市民病院の市村委員に承諾いただけたことから今年度はリンパ腫を解析し、来年度以降は5大がんに戻って解析を行うこととした。
- ・6月1日・2日、第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会 (野間・山田両常任理事)
愛知医科大学名誉教授の中川隆先生が会長を務める形で標記総会・学術集会が開催され、「救急医療のこれまでとこれから」をメインテーマに、昨今の超高齢社会などを背景として変わりつつある救急医療の姿や課題、今後の展望について発表や意見交換などが行われた。
- ・6月1日、第19回たばこと健康・広島フォーラム (津谷常任理事)
国立保健医療科学院の稲葉洋平先生より、「職場における禁煙支援～加熱式タバコから発生する有害化学物質～」と題して、大阪国際がんセンターの田淵貴大先生より「新型タバコ時代のタバコ対策～産業医活動に必要な最新情報も～」と題してご講演いただいた。当日の参加者は139名であった。
- ・6月1日、広報委員会 (小笠原常任理事)
6月15日号、6月25日号、7月5日号の広島県医師会速報の企画・編集、ビデオスケジュール・ホームページ掲載メニュー、広告掲載の採否などについて報告・協議した。
- ・役員賞与について (津谷・水野・中西各常任理事)
原案どおり支給することを報告
- ・会員異動 (5月分) (津谷常任理事)
5月31日現在、広島県医師会会員は6,832名 (先月より96名増)、日本医師会会員は5,540名 (先月より89名増) であった。
会員からの入会 (205件)・退会 (63件)・異動 (63件) の届け出があった。
- ・感染症発生動向 (5月解析分) (大本常任理事)
4月 (5月解析分) の感染症発生動向について、ヘルパンギーナの定点医療機関からの報告患者数が急増。また、トピックスとして沖縄県等における麻しんのアウトブレイクについて注意喚起。
●急増疾患 ヘルパンギーナ (0.02→0.12)
●急減疾患 インフルエンザ (6.46→0.89)
- ・6月1日、選挙管理委員会 (事務局)
第123回定時代議員会における理事 (会長候補理事を除く) および監事ならびに裁定委員の選任に向けて、選挙管理委員会を開催し、

理事(会長候補理事を除く)候補者24名、監事候補者3名、裁定委員候補者11名の届出を受理し、投票用紙に公印を押印し封入した。投票用紙は6月10日(日)の選任当日は選挙管理委員会委員長が保管し、当日投票による選任となった場合は、選挙管理委員会委員長が投票について説明を行う際に封入された投票用紙を壇上で取り出すこととした。また第2回理事会(平成30年5月8日)で問題提起がなされた「会長候補理事立候補届受理に関する対応」について協議した結果、非常に重要な課題であり、大変貴重なご意見をいただき感謝する。選挙管理委員会としては、会長候補理事など役員立候補届の受理を決定した場合には、これまでの対応に併せて、立候補届の受理の状況を直ちにホームページ(会員向けページ)に掲載する旨を予め会員に周知するなど、今後も会員により迅速な情報発信を行うためのあらゆる方策を引き続き検討していくこととした。

平成30年度第10回常任理事会

(平成30年6月12日)

平松会長 挨拶

皆さま、こんばんは。新しいメンバーによる初めての常任理事会でございます。私の隣も席が入れ替わっておりまして、まだ落ち着かない気分であります。それにしましても新しく常任理事になられた方は誠にありがとうございます。責任を自覚してしっかりと自分の分掌を果たしていただきたいと思っております。

今回も私はやはり所信表明を出しています。これは初めての私の会長選挙の時に出した所信表明を手直しして、今回の所信表明とさせていただきます。テーマは「さらに進化した医師会」と、これまでも皆さんとともに一生懸命頑張ってきた会務をさらに進化させよう、あるいは進化しようという意味のテーマにしました。

実はこれですでに前回の所信表明で「進化した医師会運営を実践する」という言葉を使っているのですが、今回はそれをさらに進化した医師会にしたいという気持ちでございます。

前回は資産運用をはじめとする経理面のチェックを最重要課題としましたが、今回も経理面の透明性を維持することと、そのチェック

機能を維持していくという言葉を使っております。

もう1つは地域医療構想および地域包括ケアシステムの構築という面とともに、医師不足あるいは医師の偏在などの問題に注目をして、広島県医師会としてもその解消に向け発言をしたいと考えております。

地域医療構想は現在も二次医療圏ごとの調整会議で検討をしているところではございますけれども、なかなか終着点が見えてこない状況です。

日本医師会あるいは厚生労働省は、この状況を打開する方法として現在の二次医療圏ごとの検討に加えて都道府県単位の検討にするという話があります。この県単位という話は、地域医療構想の初期段階で示されていたことで、地域医療構想における病床数や病床機能の選択においても県知事の権限が注目を集めました。しかし、地域医療構想の話が進むにつれて、地域の実情に合わせることも重要になり県知事の権限という話は薄れていきまして、現在は各病医院の自主性に任せることになっています。

しかし、これではある程度ところまでは取れんするでしょうが、最終的な鉦取りはできないでしょう。県単位と考えても民間病院に対して鉦取りはできないでしょう。県知事の力を求めるとしたら、これは公的病院ということになるのですが、実はまだそのあたりは不透明です。

今、日本医師会では二次医療圏ごとの調整会議を県単位にしてはどうかといった意見もあるように聞いております。そういうことで地域医療構想の決着をつける時期が来ているということでもあります。

それともう1つは新医師臨床研修制度の問題です。後期研修医いわゆる専攻医ですが、これに静岡県が前年度比で59名も後期研修医が減少していると問題提起をしているのですが、広島県はどうかというと実はまだ調べておりませんので、今調べるように指示は出しておりますけれども、東京に近いところではやはり大きな影響を受けるようであります。広島の場合も決して安穩としてはおれないと思ひまして、少し検討してまいりたいと思っております。

いずれにしまして、地域包括ケアシステムの構築には、車の両輪である地域包括ケアと地域医療構想の2つをしっかりと勉強して、提言をしてまいりたいと思ひますので、どうかまた皆さま方のいろいろなご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

今期もよろしくお願ひします。

協議事項

- ・公益社団法人広島県獣医師会市民公開講座講師派遣の件 (桑原副会長)
桑原副会長の派遣を承認
- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (山田常任理事)
19件、原案どおりすべて承認
- ・第10回IPPNW北アジア地域会議参加者の件 (加世田常任理事)
原案どおり参加とし参加者は継続審議
- ・広島県日中親善協会役員再任の件 (水野常任理事)
平松会長の推薦を承認
- ・世界医師会準会員更新の件 (水野常任理事)
準会員の更新を承認
- ・委員会委員の件 (医療事故調査制度関係3委員会) (水野常任理事)
医療事故調査支援団体運営委員会・相談支援委員会・対応支援委員会の3委員会の変更を承認
- ・中国地方社会保険医療協議会委員推薦の件 (水野常任理事)
豊田副会長の推薦を承認
- ・精神障害者雇用支援連絡協議会委員委嘱の件 (水野常任理事)
山崎常任理事の推薦を承認
- ・平成30年度広島県老人クラブ大会共催の件 (水野常任理事)
共催を承認
- ・役職員出張申請の件 (水野常任理事)
原案どおりすべて承認
- ・ジャパンウイメンズオープニングテニス大会協賛の件 (水野常任理事)
医療と直接関係がないため協賛の見送りを承認

報告事項

- ・6月2日、第37回家族の会大会・認知症問題を考える講演会記念式典 (平松会長)
「認知症を恐れるな、でも油断するな！」と題して新井平伊順天堂大学医学部附属順天堂医院メンタルクリニック診療科長・主任教授の講演などがあった。
- ・6月4日、ひろしまドナーバンク平成30年度第

1回理事会 (平松会長)
平成29年度事業報・収支決算書、就業規則の一部改訂などについて協議した。

- ・6月7日、日本赤十字社広島県支部評議員会 (平松会長)
文書審議における副支部長の選出報告および、平成29年度一般会計歳入歳出決算・事業報告などがあった。
- ・6月3日、第4回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」 (桑原副会長・加世田常任理事)
生物テロや感染症に対する関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成することを目的に標題の研修会が開催された。
- ・6月8日、都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会 (テレビ会議) (桑原副会長・津谷常任理事)
組織強化に向けた医師会事務局へのお願ひおよび、都道府県医師会における組織強化に向けた取り組み事例2例の報告があった。
- ・6月5日、広島県社会福祉協議会第207回理事会 (大谷常任理事)
平成29年度事業報告・一般会計決算報告などがあった。
- ・6月6日、第32回議事運営委員会 (水野常任理事)
6月10日(日)の「第122回臨時代議員会、第123回定時代議員会、第124回臨時代議員会」開催に向けて、提出された質問の採否・順番、当日の日程確認、代議員会の表決方法について、第122回臨時代議員会の仮議長について、代議員会の開催回数について協議を行い、いずれも原案どおり承認された。
- ・6月6日、第1回ひろしま版ネウボラ構築モデル事業推進会議 (渡邊常任理事)
平成29年度のひろしま版ネウボラ構築モデル事業の実施状況ならびに今年度の事業に関して報告・説明があった。また、ニーズ調査やベースライン調査の結果を基に、今後の課題等について協議した。

- ・6月6日、広大死因究明教育研究センター看板除幕式 (大本常任理事)
 広島大学医歯薬保健学研究科では、死因究明に必要な分野横断型専門家を養成し、死因究明学の教育・研究を推進するとともに、地域の拠点として社会に貢献することを目的として、平成29年6月に死因究明教育研究センターを設置した。看板除幕式には越智光夫学長、安井弥死因究明教育研究センター長をはじめとする大学関係者と広島県死因究明等推進協議会の委員らが列席した。
- ・6月7日、平成30年度第1回広島県周産期医療

協議会 (中西常任理事)
 広島県周産期医療情報ネットワークシステムの更新、災害時周産期医療体制の整備について協議した。

- ・6月8日、平成30年度第1回広島県障害者施策推進協議会 (渡邊常任理事)
 広島県障害者プランおよび広島県障害福祉計画の進捗状況を確認し、次期計画である第4次広島県障害者プラン(計画期間平成31~35年度)の策定について検討を行った。また、平成30年広島県障害者支援課主要事業の概要に関する報告があった。

医療時事ニュース (6月19日~6月28日)

- ジュノー博士の志 次代に 中区で記念祭 6・19 中国
- ドクターカー来月2日導入 「救急」充実 県立広島病院 6・20 中国
- 終末期の治療 希望を文書に 安芸地区医師会が事例集着々 患者と家族 意向共有 6・20 中国
- 広場 広島に会議場もっと 医師 白根猛 6・21 中国
- 広場 男4人 コイ観戦で絆 医師 堀田由梨 6・22 中国
- 放影研 移転調査へ 機器移設方法や費用 今年度中 6・22 読売
- 石綿被害 モンゴル支援 診断指導3年間 広島医師 6・23 中国
- 注目発信 ちゅーピーメルマガから ぎっくり腰にご用心 広島県医師会 平尾健 6・23 中国セレクト
- 病院の実力 広島編 手外科手術 金属で固定 早期回復 薬、注射、装具治療が基本 6・24 読売
- 日医会長に横倉氏 4選 6・24 読売・朝日・毎日・日経・中国
- 通信病院 旧外来棟寄付 日本郵政、広島市に来月 6・27 産経・中国
- 被爆者医療など 韓国の医師研修 HICARE招待 6・28 中国
- 広島大 20年に全面禁煙 屋内喫煙所から順次廃止 6・28 中国
- ドクターカーで「救命率高める」 県立広島病院でお披露目 6・28 産経・中国

熱中症予防の普及啓発・注意喚起にご協力下さい!

平成30年5月16日付けで日本医師会より、熱中症予防について連絡がありました。
 下記の情報をご参考に、こまめな水分・塩分の補給、扇風機やエアコンの利用等の熱中症予防、熱中症患者が発生した際の適切な受け入れ、治療についてご協力をお願いいたします。

【参考URL】

▷厚生労働省

熱中症関連情報 [熱中症予防リーフレット、熱中症診療ガイドラインなど]

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

▷広島県 [気をつけていますか!?熱中症予防]

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1187335768796.html>